

AUTO DDCS (Automatic Dilts Diagnotis Clear System) Z125 PRO 取扱説明書

この取扱説明書はAUTO DDCSの取り付け方や使い方について説明しています。

本書をよくご理解の上、正しくご使用ください。本機はZ125 PRO 国内仕様専用です。輸入仕様のZ125 Pro や他のバイクには使用できません。

Kawasaki Z125 Pro はサブコン等によりリミッターカット(燃料リミッター及び点火リミッター)を行って、エンジンが11000回転/分以上になった場合 ECU が誤作動と判定し、P0351 (イグニッションコイル異常)として警告し、FI ランプを点灯させエラーモードになります。またバッテリー電圧が低く、ぎりぎりセルが回る時などスムーズに始動できない時にも、同じエラーを出します。

AUTO DDCS (Kawasaki Z125 Pro 専用)はイグニッションキーONの際、このイグニッションコイルエラーをチェックし、検出した場合は自動的に消去します。従来はエラーを消去するには、診断機(KDS)やエラー消去器(当社 DDCS 等)の場合、シートを外し、診断ケーブルへ接続し、パソコン操作やボタンを押す消去操作を行う必要がありました。非常に小型のAUTO DDCS はシート下の診断コネクタに常時接続しておきます。(つけっぱなしでOK)。

万一エラーが発生した時は、イグニッションキーをOFF/ONするだけで自動的にエラーを消去してくれます。またイグニッションコイル異常(P0351)以外のエラーが発生した時には、消去動作を行いません。

取り付け方



Z125 PRO のシートを外し、診断コネクタのカバーを爪を内側から外側に引っ張りながら外します。

Z125 PRO のキーがOFFになっていることを確認後、AUTO DDCSのコネクタをカチッと音がするまで、Z125 PRO の診断コネクタに取り付けます。本体を近くに固定してください。

取扱上の注意

- ・本製品は、精密機器です。落としたり乱暴に扱ったりしないでください。また本製品は簡易防水です。雨や洗車時の水が直接かからないようにしてください。
- ・コネクタや線を無理に引っ張ったりしないでください。
- ・本製品を取り付け/取り外しを行うときは、必ずイグニッションキーをOFFの状態で行ってください。

使用上の注意

- ・Z125 PRO はイグニッションキーをONにすると、ECUにエラーがない場合でも、エンジンを始動するまで、エンジン警告灯(FI ランプ)は点灯状態となります。ECUにエラーが無ければエンジンを始動した後FI ランプが消灯します。
- ・走行中にエラーが発生し、FI ランプが点灯した場合、一度イグニッションキーをOFFしてONしないと消去されません。正しくエラー消去されていれば、エンジン始動後FI ランプは消えます。
- ・本製品は、ECUのリセットを行うものではありません。
- ・本製品はエラー発生原因をリセットするものではありません。
- ・P0351以外の異常がある場合、エラー消去はされませんので、KDS等で故障箇所を特定して修理してください。
- ・イグニッションコイル断線や点火プラグコードの外れなど、P0351本来の異常が発生した場合でもエラーを消去しますので、エンジンが始動できないような時は、AUTO DDCSを取り外し、KDS等でサービスコードを確認してください。